

災害・感染症に係る看護職員確保事業

災害支援ナース養成研修

研修目的	<p>1.災害・感染症等に関する基礎知識・技術を習得する。</p> <p>2.派遣の概要を理解し、研修修了者として実際の派遣時に対応できる技術を習得する。</p> <p>【災害】</p> <p>1.看護職として必要な災害医療と看護の基礎知識を習得する。</p> <p>2.災害時の看護職の役割と活動の実際を理解する。</p> <p>3.看護職として、被災地や被災者に対して有効に機能できる技術を習得する。</p> <p>4.災害時に看護職として他者と協働するための知識・技術を習得する。</p> <p>【感染症】</p> <p>1.新興・再興感染症に関する基礎知識を習得する。</p> <p>2.新興・再興感染症患者に対応できる知識・技術を習得する。</p> <p>3.酸素療法、呼吸理学療法に関する基礎知識を習得する。</p> <p>4.災害時の感染症対策に関する基礎知識を習得する。</p>
研修対象	<p>災害・感染症に係る派遣対応看護職員を目指す者で、都道府県行政への情報提供および「災害・感染症医療業務従事者」への登録に同意する者</p> <p>※所属の医療機関において、災害支援ナースとして配置される予定の者を優先</p>
研修時間	<p>講義(オンデマンド)4日間:総論120分/災害各論540分/感染症各論540分</p> <p>演習(集合研修)2日間:講義60分/災害270分/感染症270分</p>

■講義(オンデマンド)

章	単元/主な内容	講師名(所属等) ※敬称略	視聴時間
1	<p>【総論】</p> <p>災害・感染症に係る派遣の対応</p>	松本 珠実 (日本看護協会 常任理事)	120分
2	<p>【各論(災害)】</p> <p>災害医療の基礎知識</p> <ul style="list-style-type: none"> ・災害とは ・わが国の災害医療体制 	小井土 雄一 (国立健康危機管理研究 機構 危機管理・運営局 DMAT 事務局 局長)	180分
3	<p>災害時に求められる看護支援活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・災害看護とは ・災害時保健医療福祉活動における看護 ・災害の場に応じた看護支援活動 ・災害時要配慮者の特徴と看護 	石井 美恵子 (国際医療福祉大学 大学院 教授)	150分
4	<p>災害時の心理的变化とこころのケア</p> <ul style="list-style-type: none"> ・被災者に生じやすい心理的問題 ・被災者に接する際の基本的留意点 ・わが国の災害精神医療体制(DPAT 含む) ・支援者の惨事ストレスとケア(事例含む) 	河嶌 譲 (日本精神科病院協会 DPAT 事務局 顧問)	110分
5	<p>災害時の看護職の活動事例</p> <ul style="list-style-type: none"> ・派遣された看護職の活動事例 ・活動場所で直面する様々な状況 	岡崎 敦子 (東京医療センター 災害看護専門看護師)	60分
6	<p>広域災害・救急医療情報システム(EMIS)について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・EMISとは ・外部連携システム ・操作方法(活動時/登録時) 	厚生労働省	40分
-	災害 確認テスト	10問	

7	【各論(感染症)】 新興・再興感染症の基礎知識 ・ 新興・再興感染症/パンデミック ・ 新興・再興感染症等の感染拡大時における医療提供体制の確保	大曲 貴夫 (国立国際医療研究センター 国際感染症センター長・感染症内科医長)	60分
8	新興・再興感染症の基礎知識 1) 感染拡大・重症化を防ぐ技術の提供に必要な知識 ・ 標準予防策(手指衛生・PPE(個人防御具)の種類や着脱等) ・ 経路別予防策(隔離、ゾーニング) ・ 環境整備・廃棄物・寝具・食器、汚染機材の取り扱い 2) 院内感染発生時の初期対応・クラスター発生予防の対策	美島 路恵 (東京慈恵会医科大学附属病院 感染管理認定看護師)	60分
9	災害支援ナースが知っておきたい感染症	具 芳明 (東京科学大学大学院医歯学総合研究科 統合臨床感染症学分野 教授)	60分
10	呼吸器感染症患者の看護(軽~中等症) 1) 重症化予防のための患者評価と対応① ・ 緊急性の判断と急変対応 ・ 重症化予防 ・ 異常の早期発見 ・ 患者家族への精神的ケア ・ 医療機関と在宅・宿泊療養での対応の特徴	桑村 直樹 (手稲溪仁会病院 副看護部長/クリティカルケア認定看護師)	60分
	2) 重症化予防のための患者評価と対応② ・ 酸素療法 ・ 呼吸理学療法 ・ 体力の消耗を最小限にするための患者への生活指導	有田 孝 (小倉記念病院 クリティカルケア認定看護師)	60分
	3) 患者家族への精神的なケア ・ 隔離による不安、意思決定支援、看取り 等	立野 淳子 (産業医科大学産業保健学部看護学科 准教授/急性・重症患者看護専門看護師)	60分
11	災害時の感染症対策 1) 避難所で問題となる感染症	森下 幸子 (久米田看護専門学校 副学校長/感染管理認定看護師)	60分
	2) 避難所等における感染拡大防止の実際 ・ トイレの清掃方法 ・ 環境整備 ・ 食中毒防止のための食品管理 ・ 嘔吐物、下痢の処理	佐藤真裕美 (自衛隊札幌病院 医療安全評価官付院内感染対策幹部/感染管理認定看護師)	60分
	3) 避難所における感染症発生時の対策-事例を通して- ・ 経路別予防策(隔離、トイレや手洗い場等の検討)	柴崎 敦 (相模原中央病院 地域医療連携室 室長/感染管理認定看護師)	60分
-	感染症 確認テスト	10問	

■演習（集合研修）

章	単元／主な内容	視聴時間
1	<p>【講義】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●●県における災害・感染症に係る派遣時の看護支援活動 ・ ●●県の災害・感染症に係る派遣・医療提供体制の状況や対策（派遣の仕組み、登録含む） ・ ●●県看護協会における災害・感染症に係る派遣時の看護支援活動 	60分
1	<p>【演習（災害）】</p> <p>オリエンテーション</p>	-
2	<p>災害時の看護職の活動の実際</p> <p>1) 派遣決定から出発までの準備</p> <p>【演習 1】派遣決定から出発までの準備（情報収集の内容と手段、派遣要請時の職場や家庭の調整、派遣に係る確認事項と準備、携行品）</p>	50分
	<p>2) 災害医療対応の原則</p> <p>【演習 2】災害医療対応の原則（支援者としての心構え、災害医療対応の原則、活動場所の違いによる活動の特徴（医療機関、避難所））</p>	60分
	<p>3) 方針に沿った活動</p> <p>【演習 3】発災後 3 日目に避難所に派遣された場合（活動方針の考え方、受診等が必要な場合の対応）</p> <p>【演習 4】発災後 1 週間目に避難所に派遣された場合（他職種、他機関との連携、新たな活動を依頼された場合の対応）</p> <p>【演習 5】発災後 1 か月目に避難所に派遣された場合（活動終了に向けて行うこと、報告と記録、帰還後に行うこと）</p>	150分
	<p>まとめ</p>	10分
1	<p>【演習（感染症）】</p> <p>オリエンテーション</p>	-
2	<p>感染拡大時の感染症対策</p> <p>1) 感染拡大・重症化の予防</p>	50分
	<p>2) ケア実施における感染対策</p>	40分
	<p>3) 派遣先スタッフとの協働による医療提供</p>	40分
	<p>災害時の感染症対策</p> <p>1) 多職種との連携</p>	30分
	<p>2) 感染拡大の予防</p>	100分
	<p>まとめ</p>	10分